

平成30年度 一人一人の確かな学力向上のために 1年

	学年の目標	2学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
国語	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名・片仮名の定着(100%)を図ります。身近な言葉と関連づけながら、日常生活で確認したり、文章の中で使うようにします。 新出漢字の定着(まとめの50問テスト90点以上を9割)を目指します。そのために、週に1回程度、小テストを実施し、見直しや間違いを直す習慣を付けさせます。繰り返し漢字ドリルを使い、反復学習を行います。 主語と述語を意識して、読んだり書いたりする児童を目指します。そのために、授業中、主語を入れて発表させたり、ノートを書いたりするようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名・片仮名とも読みは100%できますが、正確に書くことに課題が残ります。引き続き、国語の時間等を活用しながら反復練習していきます。 小テストでは、90点以上は、6割にとどまりました。反復練習を繰り返し、定着を図ります。 主語を入れて発表することで、主語を意識できました。作文でも主語と述語を意識して書けるように指導していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期末の単元末漢字25問テストでは、95%の児童が9割以上の得点をとり合格しました。 現在行っている3学期の漢字小テストは、平均点が80点です。学年末に向けて、定着を目指します。 文章を書くときは、ひらがなの促音や句読点を正確に書く児童が少ないので、指導を重ねます。既習の漢字を使う意識が高く、漢字を使い文章を書いています。 会話の中にも自然と主語を交えて、話しをする児童が増えました。文章を書く際にも生かしていけるよう、今後も指導します。
基礎・基本 算数	<ul style="list-style-type: none"> 1位数と1位数の加法・減法、簡単な2位数の加法・減法の定着(単元末テストで90点以上を9割)を目指します。そのために、週4回の補習タイムや家庭学習期間で既習内容の東京ベーシックドリルに繰り返し取り組みます。授業の始めに、フラッシュカードや計算ドリルを活用し、繰り返し計算練習を行います。 時刻を読めるようにします。そのために、時刻の読み方を用いて、時刻と日常生活を関連付けるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り上がりのあるたし算・繰り下がりのある引き算は、90点以上は、7割にとどまりました。定着を目指し、今後も補習タイム等を使い、反復練習をしていきます。 学校生活で、時計を意識させています。1学期に習った、何時、何時半は、9割の児童が読めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り上がりのあるたし算・繰り下がりのあるひき算は週4回の補習タイムや家庭学習期間などの時間を使って復習することができました。学年末に向けて、フラッシュカード等を使い、たし算・ひき算の答えを瞬時に答えられるようにします。 時刻は、現在学習中です。学年末に向けて、100%の児童が何時何分と正確に読むことができるよう指導します。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 読書に親しみ、1学年の読書目標100冊を達成できる児童を目指します。そのために、マイブックとしていつも手元に本がある状態にするなど読書環境を整えます。読み聞かせを行ったり、教科に関連する本を紹介したりして、読書に親しめるようにします。 調べ学習ができる児童を目指します。そのために、国語科・生活科と関連させ、読書科ノートを活用し、調べ学習などの探究活動を年間で12時間行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 20人が100冊を達成しました。隙間時間があると、読書をするように習慣付けています。朝読書も集中して本を読むことができています。 1、2学期とも教科と関連し、調べ学習を行いました。本から必要な情報を見つけ、分かったことをまとめる学習をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書に親しむ児童が多く、目標の100冊を突破し、200冊、300冊と達成する児童もいました。目標の100冊は年間で14人達成することができました。マイブックを活用し、隙間時間に自主的に読書ができました。 調べ学習では、自分で調べたいことを見つけ、その答えを本から探し、本から必要な情報を書き抜き学習をしました。調べ学習の学び方を学びました。
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を見出し、見通しをもって解決することのできる児童を目指します。そのために、授業の始めに、めあてを明確にし、課題を解決するための教材、場、時間を確保します。自分の考えを具体物、絵、図、言葉で表現できるようにします。授業の最後には、まとめを書いて振り返ることで、自分の達成度を確認したり、次時の課題をもちます。 自分の思いや考えをもち、友達に伝え合う児童を目指します。そのために、まずは、ペアや少人数で話し合う活動を行います。相手の発言を受けて質問したり、確かめたり、共感を示すようにします。話がつながることの楽しさや良さを価値付けます。 ノートを書くことができる児童を目指します。ノートの使い方を教え、めあて、考え、まとめなど学習過程が見開きで分かるように指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> めあてや課題を明確にし、掲示して示すことで、課題解決に向けて意識して授業に取り組むことができました。自分の考えを図や言葉で書く児童も増えました。 ペアで、自分の考えを伝える・相手の考えを聞く活動を設けることで、質問したり、共感を示す児童が増えました。「同じです。」「付け足しです。」「違う意見です。」と言い、お互いの意見を繋げています。 実物投影機を使いながらノートの使い方を教え、約8割の児童が、黒板に書かれた文字を自分でノートに写すことができます。 	<ul style="list-style-type: none"> めあて、見通し、自分の考え・学び合い・練習問題・まとめ・振り返りという学習の流れは定着しました。振り返りができないときもあり、次時の課題をもつことは今後の課題です。 自分の考えを友達と比較して、発表できる児童が増えました。ペアや4人のグループの話し合い活動を行い、友達の意見に共感しながら聞くことができました。 9割の児童が教師と同じようにノートを写すことができるようになりました。自分の考えを書くときは、図や言葉などを用い、自分なりに工夫しながら考えも書くことができました。
学習習慣・学習規律	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習時間を毎日15分(15分×1年生)取り組むことを目指します。そのために漢字・音読・算数の宿題を毎日課し、宿題の提出を確認します。そして、宿題の提出率100%を目指します。 チャイム着席・次時の授業の準備の習慣化を目指します。一日の流れを掲示し見通しを持たせるとともに、できている児童をほめたり、グループで声をかけあったりさせることで100%の定着を図ります。 話を聞く姿勢を身に付けます。そのために、話し方名人、聞き方名人を掲示し、相手を見てだまって最後まで聞くこと、友達に伝えることを意識して話すことを指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題の提出率は、約90%です。前日の声掛けや個別支援を行いながら、今後も100%を目指します。 朝の会で1日の流れを伝え、黒板に視覚化しています。7～8割の児童がチャイム着席や授業の準備をしています。褒めて価値付けすることで、今後も100%を目指します。 話を聞く姿勢は、現在も指導中です。発表するときは、友達の方を見て、届く声で伝えることを指導中です。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題の提出率は95%です。家庭とも連携しながら、今後も100%を目指します。忘れても、その日の内に宿題に取り組み終わらせることができました。 チャイム着席は児童同士でも声を掛け合いながら、9割の児童が達成できています。次時の授業の準備ができている児童は5割程度です。年度末に向けて、声掛けを行い意識させていきます。 話し手を見ながら話を聞ける児童は8割です。引き続き目と耳と心で聞く指導を徹底していきます。